

# ほのか診察室

HONOKA Consultation Room

シリーズ

第98話

完全完治も見えてきた  
画期的なC型肝炎治療



市民病院  
消化器科・外科診療部長  
横井佳博 医師  
監修

C型肝炎ウイルス（HCV・エッチシビー）は、肝臓に感染するウイルスであり、感染患者からの血液に直接接触することによって感染します。

世界で推定1億5千万人がC型肝炎ウイルスに感染しており、感染者の約70%がウイルスを体内から排除できず慢性肝炎となります。その後、20%が肝硬変に進行し、そのうち25%までが肝がんに行進します。

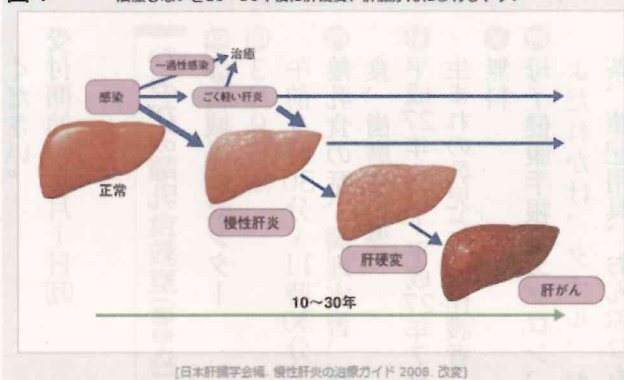
（図1）

日本では、C型肝炎ウイルスの感染は、慢性肝炎および肝硬変の最大

の原因であり、約120万人がC型肝炎ウイルスに感染していると言われています。

さて、従来、C型肝炎ウイルスにはインターフェロン（注射薬）を中心とした治療が行われ、ほかの薬剤と併用して、ウイ

図1 治療しないと10~30年後に肝硬変、肝がんに移行しやすい

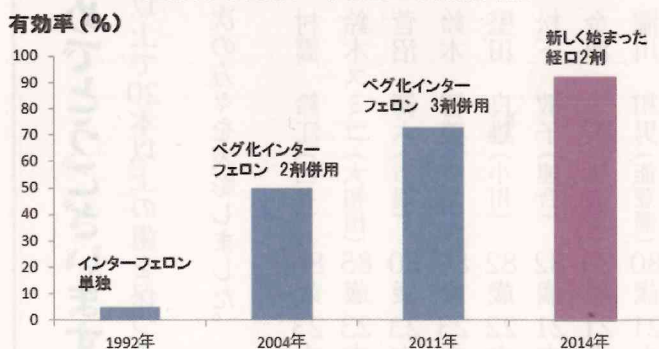


現在、国は肝炎治療特別促進事業を進

この治療の良い点は、治療日数が3カ月あるいは6カ月で、副作用が軽度（時に肝機能障害）、しかも多くの方が感染している通常（意地悪ではない）型のウイルスでは、95%以上の排除も可能となりました。また高齢の方や軽度の肝硬変の方にも治療が可能となり、若年や慢性肝炎の方と同様の有効率が証明されています。

（図2）

図2 C型肝炎治療の変遷と治療成績



ルスを排除する率が向上しました。しかし、治療には24~48週もかかったうえ、毎週、注射のための通院が必要で大きな負担でした。ウイルスの排除率は全体で80%台どまり、しかも副作用として発熱、うつ状態や血液毒性などがありました。

ところが、平成26年9月から、インターフェロンを使わない、飲み薬による画期的な治療が始まりました。

この機会にC型肝炎と言われたことがある、あるいはご家族にC型肝炎患者がおられる方（HCV検査が必要）は、専門医を訪れ、この進化した素晴らしい治療でウイルスから解放され、肝臓がんへのステップを防ぎましょう。

この機会にC型肝炎と言われたことがある、あるいはご家族にC型肝炎患者がおられる方（HCV検査が必要）は、専門医を訪れ、この進化した素晴らしい治療でウイルスから解放され、肝臓がんへのステップを防ぎましょう。

（この制度については、保健所へお問い合わせください）